



出雲コク栄光の時代、その王たる者たちのシンボルとして築かれた四隅突出型墳丘墓^{よすみしゅつがたかみづつぼ}が執り行われた。人びとは偉大な亡き王の御霊^{みたま}にひれ伏し、そしてつぎなる首長につき従うことを誓った。特殊な墳墓で特殊な土器を用い、神秘性を強めて行われた「日継」の祭^{ひつぎ}。この祭りこそ、出雲コクがもつとも輝いていた時代を象徴するものであった。しかし、もつこの出雲独特の儀式も墓も見ることはない。地方の時代の終焉^{しゅうげん}は新たな時代、大和コク連合による全国支配の時代の始まりであった。